

一東北生産性本部一

2012新年労使交流会盛會裡に開催

～本年もご愛顧の程、宜しくお願い致します～

平成24年1月17日(火)15時半より、江陽グランドホテルに於いて、106名の参加を得て、2012年新年労使交流会(第一部年頭挨拶・新春講演会、第二部賀詞交歓会)を盛會裡に開催した。

<第一部>年頭挨拶

会長 青木讓

『今から100年前は大正元年、明治と昭和に挟まれた国内外とも激動の時代、今こそ、大正デモクラシー・大正ロマン・大正モダニズムを思い起こし、大震災を乗り切るう・・・』



<第一部> 新春講演会

落語家 立川談四楼 師匠

テーマ『話のプロが教える驚くほど付き合いがうまくなるコツ』

* 故立川談志師匠のエピソードも交えながら、会話手法に止まらず、上に立つ者の振る舞いなど、笑いの中に多くのヒントが詰まった講演であった。



< 第二部 > 賀詞交歓会

・開会挨拶

副会長 田村昌徳

(東北電労本部執行委員長)

・祝辞

東北経済産業局長 豊國浩治 氏

・乾杯

宮城県経済商工観光部長

河端章好 氏

・中締め

副会長 敦賀 博

(東北リコー代表取締役社長)

労使定例政策研究会

第3回例会

<と き> 2月1日(水) 14時半～16時

<と ころ> 『東北電労会館』仙台市青葉区立町20-1

<テーマ> ～顧客満足～ 『湯主一條、サービスプロセスの改善』

<講 師> 鎌先温泉 一條旅館 二十代目女将 一條千賀子 氏

第4回例会

<と き> 3月2日(金) 14時半～16時

<と ころ> 『東北電労会館』仙台市青葉区立町20-1

<テーマ> ～自己実現～ 『地域と仕事と生活の調和、ワークライフバランス』

<講 師> 日本生産性本部参事 北浦正行 氏

第一義 ～転換期の日本～

2012年(平成24年)が明けた。昨年は3・11の予期せぬ大災害により、全てが変わった。未だ3月11日14時46分で、時が止まった人も多いと思う。生きられた者には、2万人近い命の重みを後世に伝える義務がある。元旦の新聞社説は、総じて『転換期の日本』がテーマであった。朝日は成長から成熟へ社会の転換、読売はポピュリズムとの決別、毎日課題解決できる政治の重要性、日経はグローバル社会での生き抜く必要性、どれも御尤も、待ったなしである。産経の正論では、昨年の漢字一文字に選ばれた絆を取り上げた。作家の曾野綾子さんは、絆はなくなってみると悲しく、結ばれている間は辛い時もある。その両方の思いを受け止めるのが絆であると、両面性に納得。そして、そもそも絆の基本は親との同居であると、身につまされる一年の始まりとなった。(記S・S)